

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 紀見小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒648-0097

E-mail : kimi@edu.city.hashimoto.wakayama.jp

Website : <http://www.edu.city.hashimoto.wakayama.jp/kimi-es/>

児童生徒数：男子 195名 女子 196名 合計 391名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 福祉 ）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

橋本市立紀見小学校の取組

ESD と学力

ユネスコスクールとしての取組

概要

1. 本校では、持続可能な社会を形成していくための主体的な力の育成を目指した取組を推進する。
2. 授業においては、環境教育・福祉教育・防災教育を軸とした実践を展開する。
3. 児童に市民性を育てるという視点に立ち、人権を重んじながら児童会活動などの児童の自治活動を推進する。

目的

1. 新学習指導要領にそって、環境教育・福祉教育・防災教育を中心に体験的な活動を豊富に取り入れながらESDを推進する。変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体のバランスがとれた児童を育てる。
2. 児童が、国際的な視野に立ち、地球規模で環境や福祉について考え、社会に貢献する。
3. 自校の取組を発信し、他の地域の人々と交流する中で、相互の理解を深めながら繋がりを強め視野を広げていく。

全校系統的学習・活動計画と実施内容

1. 授業実践

授業においては、環境教育・福祉教育・防災教育を軸とした実践を展開する。児童に市民性を育てるという視点に立ち、人権を重んじながら各教科・特別活動・総合的な学習の時間で主体的に学び行動する。

各領域を通じた学年ごとのテーマ・学習・活動

(全校活動・PTA活動・地域連携を含む)

学年	環 境	福 祉	防 災
1 年	杉村公園で四季を感じよう(生活科) EM だんご作り(特別活動) 	幼稚園児との交流(生活)  敬老会とともに(生活)	地震から身を守る方法(避難訓練の事前事後指導) (特別活動)

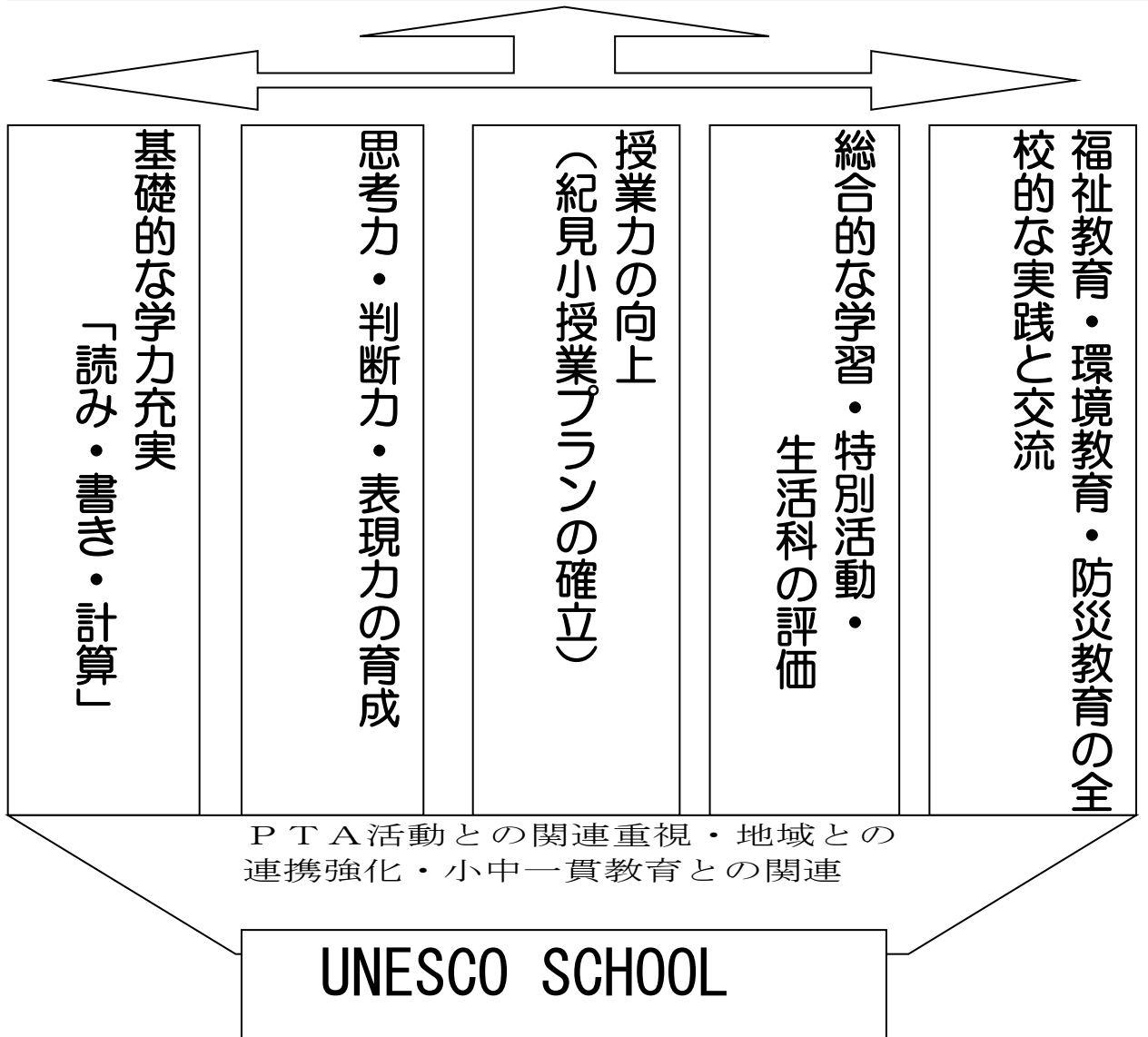
		<ul style="list-style-type: none"> ・七夕祭り ・昔遊び 	
2年	<p>ビオトープの生き物 (生活) EM だんご作り(特別活動)</p>  	<p>おじいさんおばあさんを招待しよう(生活)</p>  <p>・秋のフレンドパーク</p>	<p>地震や火事の際には (避難訓練の事前事後指導) (特別活動)</p>
3年	<p>杉村公園の自然と生き物(理科・総合) EM 発酵液作り</p> 	<p>手紙を書こう(道徳) とべないホテル(道徳) ・障害者理解</p>	<p>地震や火事の際には (防災訓練の事前事後指導) (特別活動)</p>
4年	<p>ごみの減量化(社会・総合) 下水の行方から学ぶ(社会・総合) グリーンカーテンの効果(理科・総合)</p>  <p>EM 発酵液作り</p> 	<p>体の不自由な人とともに(国語・道徳・総合) 受け継がれてきた命(保健・総合) 福祉学習(点字・手話)</p>  <p>キャップハンディ体験</p>	<p>防災DVDで学ぶ(特別活動) 浜口悟陵から学ぶ(社会・総合)</p>

			
5年	<p>住みよい町づくり（総合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境について学ぶ ・エコマート（起業体験）  <ul style="list-style-type: none"> ・エコスクール実践  <p>受けつがれる生命</p> <p>国土の環境を守る</p> <p>EM 発酵液作り</p>	<p>住みよい町づくり（総合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーから学ぶ ・老人福祉施設訪問交流（総合）  	<p>百年後のふるさとを守る</p> <p>（国語）</p> <p>おばあちゃんからもらった命</p> <p>（道徳）</p> <p>通潤橋（道徳）</p> <p>台風と気象情報</p> <p>災害から人々を守る</p>
6年	<p>発電と電気の利用（理科）</p> <p>わたしたちの地球（理科）</p> <p>EM 発酵液作り</p> <p>EM 発酵液プール投入</p> 	<p>だれもが幸せに生きられる社会を（特別活動）</p> <p>ヘレンとともに（道徳）</p>	<p>大地のつくりと変化（理科）</p> <p>防災キャンプに向けて（総合）</p> 

<p>全校</p>	<p>クリーン作戦（地域美化活動）</p>  <p>EMを使った掃除 ECOスクール実践 （牛乳パックリサイクル）</p>  <p>ビオトープ観察活動</p> 	<p>地域高齢者との手紙交流 古紙・アルミ缶リサイクル</p>  <p>（車いす寄贈） ペットボトルキャップ（エコキャップ）収集</p>  <p>ユニセフ募金等募金活動</p>	<p>防災キャンプ参加</p>   <p>避難訓練 集団下校訓練 防災DVD視聴</p>
<p>P T A</p>	<p>EM石鹸作り</p>  <p>・リユース活動</p> 	<p>人権研修活動 バザー（被災者への募金活動）</p> 	<p>P T A本部役員・安全防災部防災キャンプ支援活動</p>  <p>引き渡し訓練協力</p>

	<p>花いっぱい計画</p>  <p>米のとぎ汁協力→EM発酵液 ナチュラルブレイク 参加</p> 	<p>窓絵</p>  	
<p>地域</p>	<p>EM だんご作り・投入 協力</p>  <p>アルミ缶収集協力 ナチュラルブレイク 運営・参加</p>	<p>アルミ缶収集協力 ペットボトルキャップ（エコキャップ）収集協力</p>	<p>防災士・自治会・区・少年野球による防災キャンプへの支援、参加 中学生・高校生の協力</p>  

ESD の充実・学力・生きる力の向上



紀見小学校の研究テーマ 「ESD と学力向上」

平成25年度も市民性を育てる教育を推進し、「人が生きやすい社会の実現のために解決すべき問題や改善させるべき課題を子どもと大人、児童と教職員、学校と家庭・地域が共有し、共に考え、行動を起こす実践的学び」を継続してきた。この市民性育成を基盤に、本年度、ユネスコスクールへの加盟が認められ、上記の市民性育成と ESD のつながりを大事にしながら、研究を進めてきている。

ESD（持続発展教育）において児童が学び活動していくことが、「生きる力」となり「確かな学力」を身につけていくことにつながる。学力を身につけていくということは、教員の授業実践・展開の技術の向上が第一の問題であるが、このことに加え ESD の実践における評価のあり方を職員が共有し、児童の生きる力につながる確かな学力を身につけさせていくよう努力してきた。

取組の方向性

総合的な学習を中心に生活科・特別活動で進める ESD について、本校では各教科で培われる表現力の向上と絡みながら、総合・特活・生活での活動や学習の中に、児童の力を引き出していく視点（ESD 関連カレンダー作成）を設定した。評価を中心に、児童の生きる力（総合的な学習における評価規準・つけるべき力）につながる豊かな学び（表現力の育成を中心）を展開できるよう工夫を加えてきた。

研究の目的

1. 新学習指導要領にそって、環境教育・福祉教育・防災教育を中心に体験的な活動を豊富に取り入れながら ESD を推進する。変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体のバランスがとれた児童を育てる。
- 2.
3. 児童が、国際的な視野に立ち、地球規模で環境や福祉について考え、社会に貢献する。

自校の取組を発信し、他の地域の人々と交流する中で、相互の理解を深めながら繋がりを強め視野を広げていく。

研究概要

①基礎学力向上

- 朝の学習の充実（毎日8：15～8：30 読書・視写・計算・音読等）○家庭学習の推進（家庭学習の手引き配付・学校懇談会の実施2回）○学力補充の充実（月曜日6限に年間10回実施 習熟度別）○長期休業中における学力補充の実施（夏休み前半後半各5日1日1時間30分～2時間）

○話型・聴型の常掲と授業での活用 ○読書活動・読書環境の充実

②授業研究部会

○算数科における授業改善

- ・授業展開の基本形（課題提示・一人思考・ペア学習・小グループ学び合い等）
- ・適切な言語活動（掲示・繰り返し）・ノート指導（使い方の標準化）

○指導法の統一「数と計算」領域の系統立てた指導の徹底。（各学年研究授業実施と研究協議）

○分かる授業の展開。全学年事前協議。協議の柱を設定

（先進校視察と復命。本校に取り入れ可能な優れた実践の周知と職員による議論→次年度へ）

③E S D研究部会

○生活科、総合的な学習の時間における 授業改善（防災・環境・福祉）

○コミュニケーション力育成のための活動の充実

○市民性の育成（開かれた学校・コミュニティスクール）

○言語活動充実に向けた学習環境の整備（言語に関わる掲示物作成・常掲）

○E S D関連カレンダーの作成と総合的な学習の評価規準に沿った培うべき力の明示

研究経過

4月～ 5月	① 各部会による検討 ② ESDに関する各学年の指導計画作成 ③ 保護者への研究方針説明 ④ 授業形態づくり(算数科)
6月～ 7月	① 学校運営協議会で取組・方針の説明 ② 保護者アンケートの実施 ⑤ ESDの学習・活動の実施
8月～9 月	① 現職教育「ESDと学力・総合的な学習についての研修」 8月19日 28日 ② 総合的な学習の時間研究授業 ③ ESDの学習・活動の実施 ④ ESDカレンダー作成
10月～ 12月	① 第2回保護者アンケート実施 ② ユネスコスクール全国大会参加 ③ ESDカレンダーと育む力一覧表作成
1月～3 月	① 研究発表会開催 2月13日 ② 学校運営協議会で成果の報告 ③ 本年度の反省と次年度の計画 ④ 実践収録の作成・発信

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）